

# 平成28年度環境モデル都市行動計画 フォローアップについて





造成時



## ◆スマートタウン六中事業◆

### <条件>

ゼロ・エネルギー住宅や環境配慮型住宅の建築  
→環境配慮型住宅街区の造成。造成初期には一定期間  
公開することにより、市民への普及啓発及び地元企  
業の技術向上を図った。

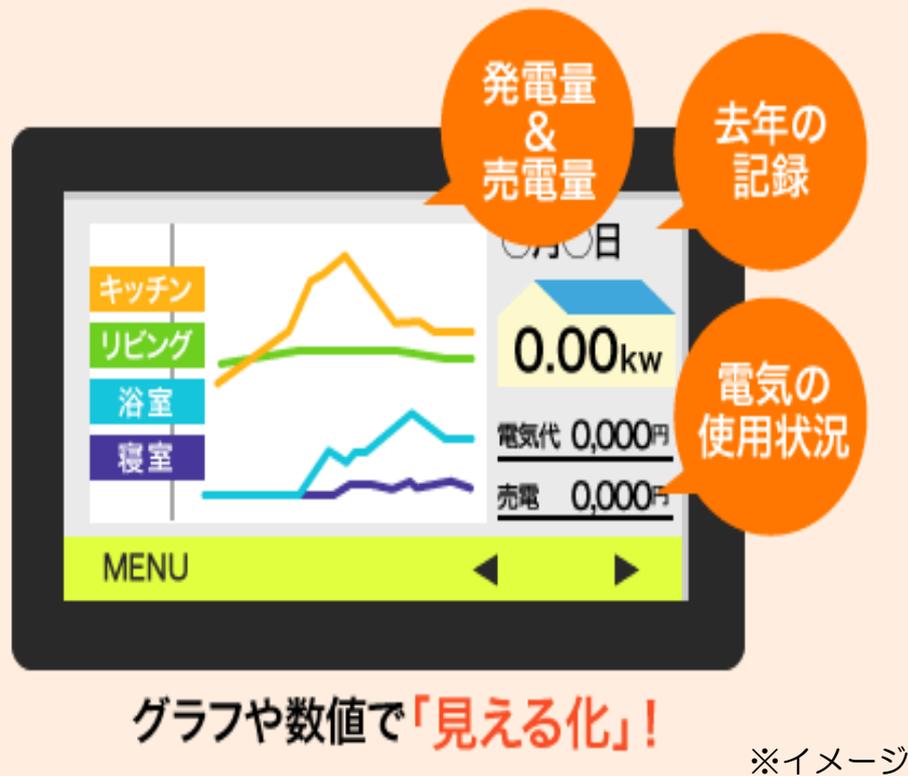
### <建築状況>

現在33区画中22区画の建築が進んでいる。  
(報告書提出件数 期限：契約締結日より5年以内)





## C : ホームエネルギーマネジメントシステム (HEMS) 導入補助



太陽光発電システムやエコジョーズ、エコキュート、木質ペレットストーブの設置に対して補助を実施。  
→環境や省エネに対する関心が薄い世帯にいかにして省エネ機器を普及させるか、また、環境配慮に関する意識をいかに浸透させるかが課題となっていた。

### ◆HEMSの導入補助

十勝管内で初めての補助を実施。  
このことにより、新エネルギー導入促進事業の拡大を図り、電力使用量の見える化を進め、省エネ意識や節電意識の普及を図っていく。

- 平成28年度は11件の補助を実施した。(当初予定6件)
- 補助金受給者(HEMS導入者)へアンケートを実施
  - 7割以上の方が設置に満足
  - 各家電の消費電力がわかるようになり、電気の使用について考えるようになった。
  - 節電行動や、節電の意識が高まった。



とがちむら入口  
看板



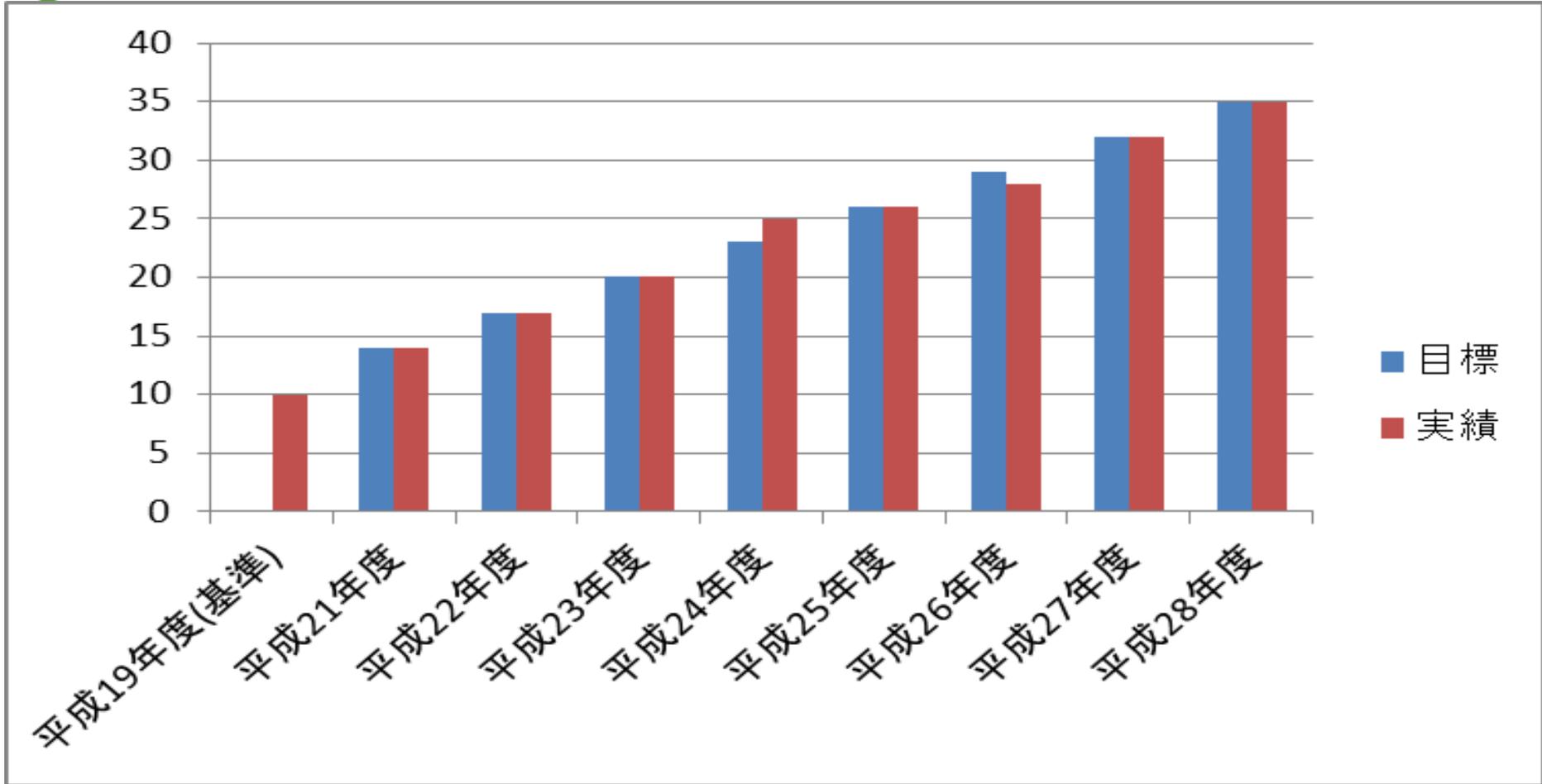
とがちむらトイレ  
ポスター

・とがちむら内に設置されている看板とポスター。

・「鹿追町水素ファームからとがちむら」という視察コースもあり、現在延べ2,500名以上の見学者が訪れているとのこと。この事業に対する関心の高さが伺える。



## D : 環境にやさしい活動実践校



### ◆目的

児童生徒に自らの生活行動を、地球または地域の環境との関わりについて考えてもらい、身近なところから環境保全に向けた具体的な活動を促すこと。

### ◆現状

平成28年度の認定目標は35校。新規認定を3校行い、目標を達成している。  
平成31年度までに41校の認定を目標としていたが、前倒しで目標達成できる見通し。



## D : 使用済み割り箸の回収 → 木質ペレットへ



- 地域に設置されている回収ボックスで使用済み割り箸を回収
- 段ボールへ積み替え、保管
- 「はぐくーむ」にて木質ペレットへ加工
- 木質ペレットストーブを設置している学校や福祉センターなどに寄附

→ 児童や地域住民への環境意識向上に寄与。  
福祉センターなどでは、「火の温かみが、灯油ストーブとは違い、癒し効果もある。」との意見もあり、好評。





## D : 家庭用廃食用油の回収

### 家庭用廃食用油回収量の推移



・回収事業は、市民生活に根付いており、定着している。市内路線バスでは使用のみならず、回収ボックスも設置されており、市民に対して取り組みの見える化も図られている。

・家庭用廃食用油を原料として精製されたBDF燃料利用促進のため、帯広市車両センターに設置した簡易給油機の除雪車等による利用→公用車全体で約77,000ℓのB5燃料使用実績、B100に関しては、103ℓの使用実績（前年度86ℓ）

## 「とがち・市民環境交流会」 2016

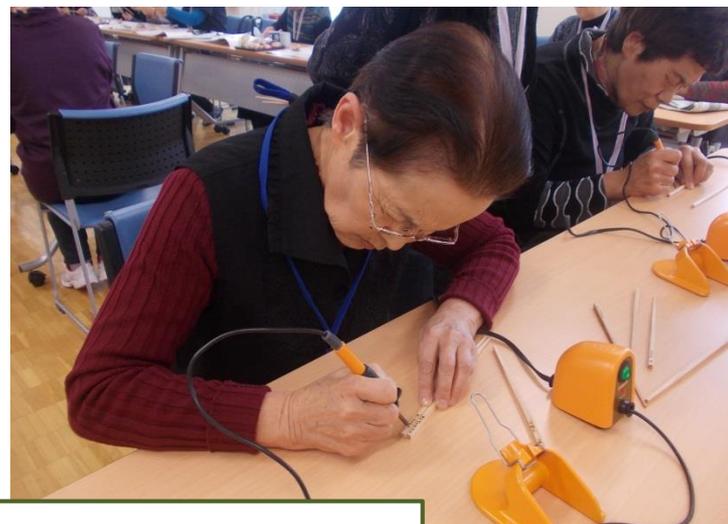
- 24団体、33ブースの出展
- 水素サプライチェーン実証事業に関するパネル展示
- 燃料電池自動車「MIRAI」の試乗体験
- 1,100名の来場者を記録



幅広い世代の市民が参加（39回 1,262名）



将来を担う子ども達への  
環境教育

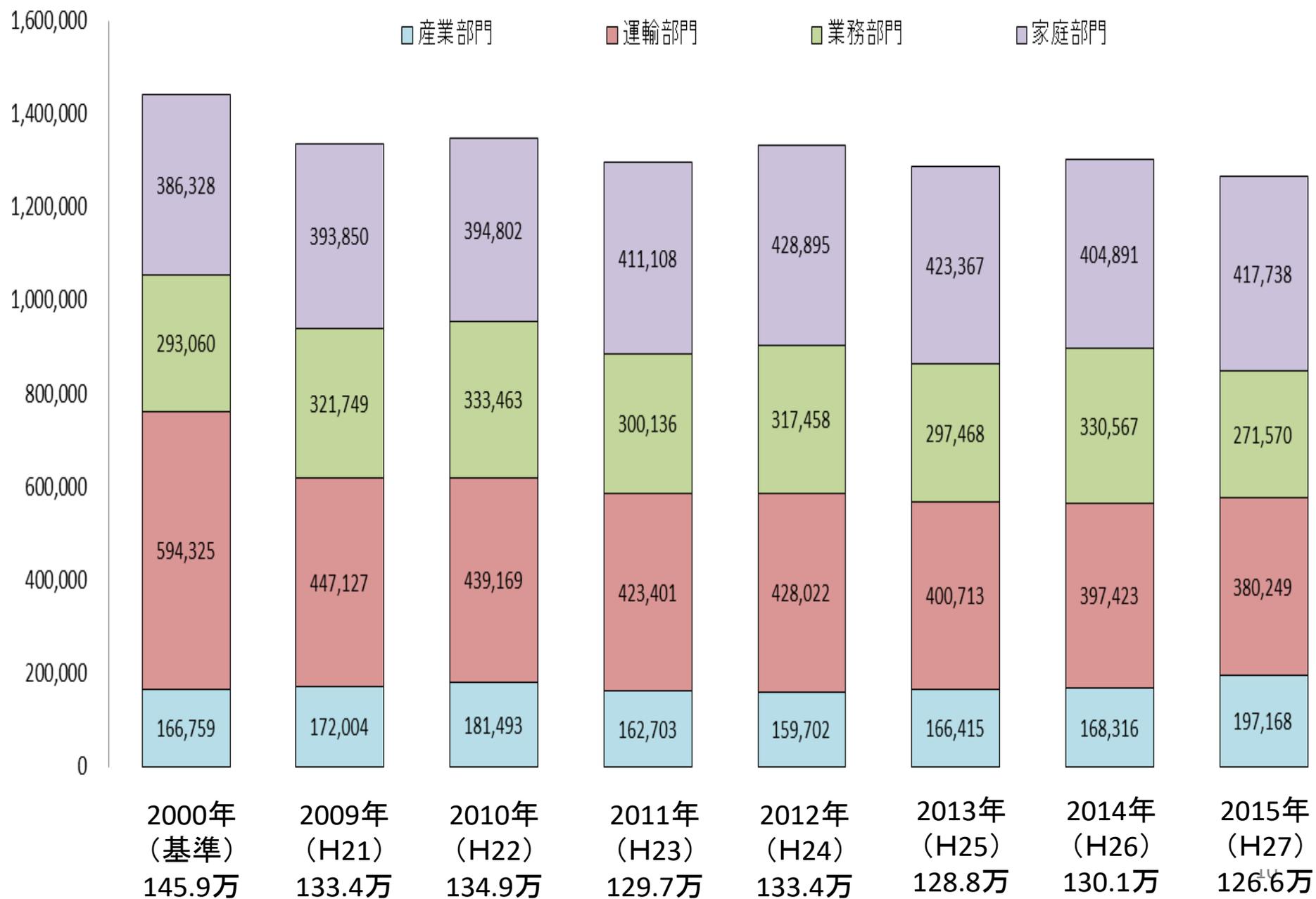


マイはし作り  
エコかるた





# B : 排出量の推移





## B : 削減量の推移

	第一期					第二期	
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
計画 (t-CO2)	27,137	44,814	61,404	78,998	120,957	139,997	158,452
実績 (t-CO2)	19,648	36,376	51,578	67,021	98,592	132,280	152,629
達成率	72.4%	81.2%	84.0%	84.8%	81.5%	94.5%	96.3%